

赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体内部内に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約30g加える。
- ② 約3時間後にスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③十分に乾燥させる。

●他のものと一緒に手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

修理を依頼される前に

次の項目について点検をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■保冷が効かない	本体が破損していませんか？本体に熱湯を入れ、20分～30分後本体を手でさわってみてください。	本体が温かい場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

消耗部品のご購入について

製品型名・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるシールに記載されています。)

- ①ホームページ………トップページの交換用部品販売からお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ②販売店………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③お客様相談窓口……お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名
IBT-280用 アイストング

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

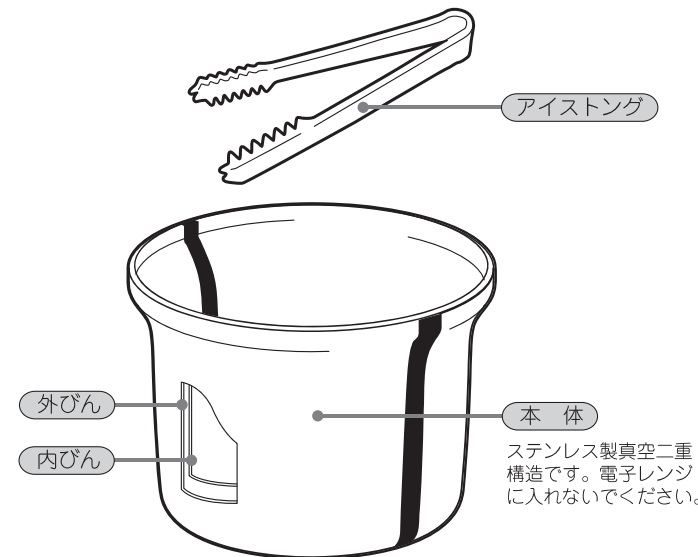
保冷専用

ステンレス製真空断熱アイスバケット IBT

取扱説明書

このたびは、ピーコックステンレス製真空断熱アイスバケットをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

各部のなまえ



説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。①

安全上のご注意

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

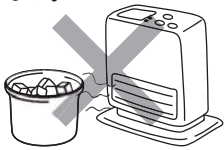
保冷以外の目的に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。



けがなど危険。

ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。



変形・変色の原因。

倒れたり、落としたりぶつかけたり、強い衝撃を与えない。



破損・保冷効果の低下・サビ・塗装はがれ・水がもれる原因。

- 「ご使用方法」にある用途以外には使用しない。
- 火にかかけたり電子レンジ・電磁調理器(IHクッキングヒーターなど)で加熱しない。やけど・破損・故障の原因。
- 不安定な場所に置かない。転倒して内容物がこぼれ、ものを汚したり、故障や事故の原因。
- 本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。はがすと保冷効果が低下するおそれ。
- プラスチック袋(製品袋)を頭から被ったり、顔を覆ったりしない。窒息するおそれ。
- アイスピックなど先のとがったもので突かない。傷・もれ・変形および保冷できなくなるなど故障の原因。
- アイストングで氷を割らない。傷・もれ・変形など故障の原因。
- アイストングを使用するときは指をはさまないように注意する。
- 改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。
- 冷凍庫に入れない。もれなど故障の原因。

ご使用方法

ご使用前に本体・アイストングを洗ってからご使用ください。

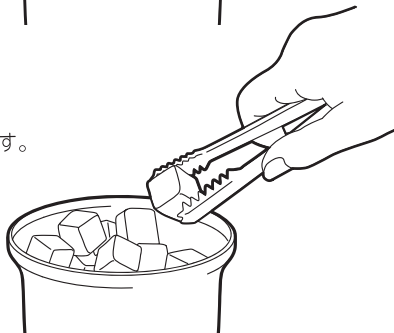
1 氷を入れる

本体を平らな場所に置き、静かに氷を入れる。
※氷を入れる際は勢いよく入れないように注意する。傷やサビ・破損の原因。



2 氷を取り出す

アイストングで氷を取り出す。



■保冷容器として

ワインやシャンパン、缶ジュースなどを入れてクーラーとしてもご使用いただけます。



お手入れの方法

- ◆ ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆ お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆ においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体・アイストング

本体・アイストングをぬるま湯が水で丸洗いし、すぐに乾いた布で水分をふきとる。※つけ洗いはしない。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

- 塩素系漂白剤は使用しない。サビ・穴あきなど故障の原因。
- 本体外側は、漂白剤を使用しない。
- シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。
- 本体の煮沸および食器洗浄機や食器乾燥器などの使用はしない。傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
- 本体は丸洗いでできますが、つけ洗い(水中に放置)はしない。
- 本体・アイストングを丸洗いした後は、必ず水分をふき取る。ふき取らないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
- 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。